

## 一般 菊川市のにぎわい創出

坪井 仲治 (みどり21)



国は、居住区域以外の地域に継続的に関わる「関係人口」を増やすための新しい制度の創設を考えている。今後、菊川市においても積極的な取組が必要と思うため、菊川市のにぎわいの創出についての施策や考え方について質問をした。

◎ 交流人口よりも関係人口のほうが移住定住につながると思うが、関係人口の創出に関する施策は。

Ⓐ 本市では人口減少対策として、知ってもらう、来てもらう、関わってもらう、住んでももらうという4つのステップに整理し、それぞれの段階にあった施策を展開している。最終目標である移住定住人口の増加を目指すためには、魅力的なまちづくりを進めていくとともに、対外的な認知度の向上と、人を呼び込むための取組を進めていく必要があることから、関係人口に係る施策として、茶畑の中心で愛を叫ぶ、黄色いポスト聖地巡礼プロジェクトなどを行っている。また、きくがわ応援大使による菊川の魅力発信や関係人口の創出を図っている。



◎ 現在、各地で道の駅やショッピングセンターが建設されてにぎわいを創出しているが、菊川市の道の駅建設計画は。

Ⓐ 道の駅などの整備は、市のにぎわいづくりにつながる有効な手法の一つと認識しているので、主要な道路の沿線に道の駅が設置可能か調査していく。

## 一般 誰もが使える公共トイレに

松永 晴香 (みどり21)



菊川市内の公共施設や公園のトイレは、洋式化が進んでいる場所もあるが、和式のままの場所も多く見られ、手すりやベビーカー、多目的トイレといった付帯設備が十分でない場所もあり、誰もが安心して使えるとは言い難い現状から質問した。

◎ 公共トイレ94か所のうち、1つも洋式が設置されていないトイレは何箇所あるか伺う。

Ⓐ 洋式が1つも設置されていないトイレは20か所である。

◎ 和式しかなく、高齢者の利用が多い場所、黒田家代官屋敷駐車場トイレなどの個室トイレ内に、手すりの設置はできないか伺う。

Ⓐ 代官屋敷の駐車場トイレについては、設置から年数が経過し、施設の故障等も生じている。また、高齢者の利用も多いことから、現在洋式化を検討している。

◎ 蓮池公園など築年数の経過や市内外からの利用が多い場所は改修の必要があると考えるが、見解を伺う。

Ⓐ 蓮池公園については、バリアフリー化もあわせ、全面改修という形で整備を考えている。事業化まで時間がかかると思うが、着手できれば2か年で設置が可能と考える。

◎ 子育て世代が多く利用する公園に、おむつ替え台・ベビーカー・子ども便座を設置できないか伺う。

Ⓐ この3つの設備は整えていきたい。まずは、多目的トイレにおむつ替え台・子ども便座の設置を始めていきたい。ベビーカーについては、スペースなどを研究しながら検討していく。

